

《第 496 回(2022年11月10日)子どもの本の読書会記録》参加者:8人

時間:10:00~11:30 場所:オーテピア4階集会室

『日本国憲法前文お国ことば訳 わいわいニャンニャン版』 勝手に憲法前文をうたう会/編, 岩合 光昭/写真 小学館

11月、10年前に開催した読書会の課題本を再読しました。日本国憲法の前文を47都道府県の方言(お国ことば)に訳しまとめた、ユニークな本です。お国ことば訳収集の発起人は、高知県在住の主婦、山猫母。インターネットや新聞で全国の人に呼びかけ、約5年かけて47都道府県のお国ことば訳を集めました。本には訳に加え、訳が集まるまでの裏話等も書かれています。また、岩合光昭が撮影した猫の写真が各ページに載っており、読者を和ませてくれます。

次に、読書会に参加した方の感想を紹介します。

●猫の写真と、お国ことばが合ってる。猫たちの穏やかな姿が見れるのは、この国が平和である証拠。載っているお国ことば訳は、正しい日本語表現でないものもあるが、言いたいことはちゃんと伝わる。土佐弁訳では、「げにえい理想と目的をほんどにする」という表現が好きだった。こういう本が高知県から生まれたのはよかった。

●テーマは硬いけれど、猫の写真があることでとつきやすい。方言を文字にするのはすごく難しいのだなと思った。それぞれの方言を読んでいて、その土地に住む友人たちのことを思い出した。次に出版する時は、ウクライナ語とロシア語の訳も付けてほしい。

●岩合ファンとしては、涙が出るくらい嬉しい本。猫の写真が愛おしくて癒される。日本は狭いのに、色んな方言がある。文字だけでは読み方が分からないから、音声が好きと思った。41ページの、こども向けに作った訳が1番分かりやすかった。裏話も面白かった。舞妓さん言葉や、各国の言葉の訳もあったら面白いかも。

●日本国憲法前文は、日本のことだけでなく、世界各国にも関わることを書いてすごいと思った。様々な都道府県のお国ことば訳の中には関西の中学生が作ったものもあるが、高知のこどもにも是非訳してほしい。平和や憲法の大切さについて、こどもに伝えることができたらいいな。

●猫の写真をじっくり見たり、お国ことば訳を声に出して読んでみたりした。お国ことば訳の下にある「山猫母のつばやき」を読むと、より理解が深まる。憲法についてどんな意見を持っていてもいい、というこの本のスタンスが好き。とつきやすく、楽しみながら読める。

●日本国憲法前文は、前々からかっこいいなと思っていた。山猫母が訳した土佐弁はすっと入ってきたが、その他の土佐弁訳は、よく分からなかったり、自分はあまり使わない表現がされていたりした。他の都道府県の訳は、何となく分かるものもあれば、全然分からなかったものも。いい本なのに、増刷されていないのが残念。

●憲法×方言×猫という、盛りだくさんな本。情報量の多さに少し戸惑った。同じ日本語なのに、各地の方言に訳されると全く別の言語のように驚いた。イントネーションや言葉の切れ目が分からない方言もあったから、音声で聞いてみたい。日本国憲法前文の原文を読むと、ウクライナとロシアの戦争が頭をよぎった。

●「個々が憲法を身近に感じる中で、それぞれの受け止め方でとらえたい」というスタンスが、この本の良さ。自分のお国ことばで憲法に触れ、考える機会を与えてくれた。狭い日本でも意味不明の言葉がいっぱい。やっぱり方言は面白い。皆さんよく方言に訳せたなと感心。猫の写真にも癒された。

次回 12月8日(木)10:00~11:30 オーテピア4階集会室

□『メリークリスマス 世界の子どものクリスマス』

R.B.ウィルソン/文, 市川 里美/画, さくま ゆみこ/訳 BL出版

申込み・参加費不要。新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更・中止となる場合があります。